



大原 広巳 議員

# 家庭保育支援の充実を

町長

## 満2歳まで延長する

【大原】事業の背景は。【町長】乳幼児期に親子の愛情感情をしつかり定着させることが大切である。

可能な限り保護者が家庭で養育できるように、費用の軽減を図っていきたい。

【大原】初年度の実績は。【町長】年4回の支給で、2月までに総額約830万円を、約70人に給付している。

また、0歳児の人口に対する入所希望は、平成28年の53%から、平成29年は47%に減少したが、1歳児は逆に68%から84%に増加した。

【大原】対象児を満2歳まで延長する理由は。【町長】県が全国に先駆けて創設する「おうちで子育て支援事業」を受けて、延長を決めた。

子育て世代包括支援センターと連携する。

# 雪害対策はこれでよいか

町長

## 体制を強化する

【大原】本年2度の大雪での除雪対応は。【町長】1月にはバス路線の運休や、スクールバスの遅延など、生活路線の除雪完了まで5日間要した。これを受け、2月には除雪体制を強化し、なんとか対応した。

【大原】集落での除雪には限界があると思うが、今後の対応は。【町長】15センチ以上の積雪で、24集落との除雪委託を行っているが、本年は現時点で62集落へ除雪費の助成をした。

平成23年以來の豪雪対応となった。



活躍するロータリー除雪車

# 大山口・佐摩線にニックネームを

町長

## 検討したい

【大原】大山開山1300年を前に、大山道路に新たなネーミングをつけてはどうか。

また、大山口駅や御来屋駅などに、宣伝看板や垂れ幕などを設置すべきと思うが。

【町長】観光協会や地元住民の声を聞きながら、検討していく。

【大原】本町に5カ所あるJRの駅周辺のガイドマップで、里部から海岸地域のPRを強化し、全町的な魅力を発信すべきと思うが。

【町長】エコトラック事業の進展とともに、駅周辺の詳しいマップも検討していきたい。



素敵な名前が欲しいな